

北野ホタルの会 ホタル乱舞再生事業

北野ホタルの会は、岡崎市生活環境保全条例の市民環境目標認定団体です。目標『北野学区内の水・自然環境の保全によるホタルが舞う豊かな水辺空間の創造』を達成するために、環境保全に関する様々な活動を行っています。昨年度に引き続き、今年度の活動を御紹介します。

生息環境保全活動

会員が子どもの頃は、田んぼのほとりにヘイケボタルが飛び交っていました。昔のように自然にヘイケボタルが発生する環境を取り戻そうと生息環境保全活動を行っています。

ヘイケボタルが再び定着できる環境を目指し、明治用水土地改良区や岡崎市に承諾を得て、少量ですが水が湧く水路を利用してホタルが生息できる環境づくりを行っています。年間を通じてホタルの幼虫の

飼育とともに、ホタルの生態に合わせた生息環境の保全として、草刈りや、水路の管理、ホタル小屋の補修などを行っています。



昨年からは数匹ですが、山下公園の池でも飛翔が確認され、活動の成果が実りつつあります。

ホタル放流式・ホタル観賞会



今年は5月8日にヘイケボタルの幼虫の放流式を行いました。放流した幼虫は会員が昨年の卵を採取し、丹精込めて1年かけて育てたもの。ホタルの幼虫を、子供たちがよく観察が出来るように透明のコップに入れていきます。会員から幼虫を渡す際に、「ホタルの幼虫の足はどこかな?」「ホタルは何を食べるのでしょうか?」



などと子供たちに問いかけます。北野保育園の年長さん、北野小学校の4年生の恒例行事となっており、地域の子供たちはホタルを身近に感じてくれています。

今年は6/1～6/9 にホタル観賞会を実施しました。リピーターさんも含めて、延べ1,000人の市民に会場いただきました。

こども水生生物調査

6月11日に北野小学校の2年生が参加し、第一支川の水生生物の調査を行いました。会員が事前に草刈りを実施してくれたおかげで、無事に調査することができました。ザリガニやスジエビのほかにモロコやドジョウも捕まえることができ、身近な川に多くの生き物がいることが実感できました。



第一支川には特定外来生物のカダヤシも生息しています。北野小学校の先生が事前に外来生物の勉強をしてくれていたため、飼育できないことを理解してもらいました。この調査結果から学区の自然環境に興味を持つきっかけになったのではないのでしょうか。

